

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業開始年度	平成23年度～		
総合計画	大項目 基本目標 01 安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	環境課
	中項目 基本施策 01 生活しやすいまちづくり	合 職・氏名	衛生係長・柴垣桂介
	小項目 施策 15 し尿処理	先 電話	64-1821
事務事業名	03 し尿処理施設整備事業	このシート作成に要した時間	1.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前市で汲取りトイレまたは浄化槽を利用している市民及び市内事業者	
目的(何のために)	備前市にある汲取りトイレまたは浄化槽で発生したし尿・浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	新たに汚泥再生処理センターを整備し、し尿・浄化槽汚泥とあわせて集落排水汚泥を処理するとともに、資源化設備においてリン回収等の資源回収を行い、市内での資源循環を進める。	

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	し尿処理施設整備事業	備前市で発生したし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理するため、新たに汚泥再生処理センターを整備する

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
決算額	事業費	千円		12,708	3,578
	必要人員	人		0.18人	1,785
	事業費	千円	0	14,493	6,620
	国県支出金	千円		1,646	2,660
	受益者負担				
繰入金	千円				
市債					
その他( )					
一般財源			12,847	3,960	
受益者負担比率	%		-	-	

結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
結果指標	結果指標量				
	対前年比	%			
	活動コスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	単位当たりコスト				

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	目標値(A)					到達目標値
	実績値(B)					
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
新たな施設の整備を進める事業のため、成果指標の設定ができない。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  C
	手段	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  A
	市民参画度	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	25年度に工事発注するために必要な書類作成等を24年度に実施したが、25年度に繰越してしまった。業者決定までに約6ヶ月必要とするが、これ以上遅れないように連絡調整会議等で手順を確認し行う。						

総合評価		総合評価
現有施設は、数回の大規模改造と老朽化した機器の更新で対応してきたが、施設のRC構造物の大部分が30年以上を経過し、老朽化が顕在化している。 将来、備前市から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理するため、施設整備を進めていく。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い  B

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	順調に汚泥再生処理センター整備工事が進むよう、地元との調整を行う。 地域によって差があるし尿、浄化槽汚泥の収集運搬料金の統一化を図る。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を効果指標に留意しながら